

渋谷発
オンライン
フォーラム

主催 NHK HEARTS 社会福祉法人 NHK 厚生文化事業団 NHKエンタープライズ

超高齢社会を 生きる

～コロナ禍に考えるフレイルと長寿の生き方・備え方～

超高齢社会。それは世界が未だ体験したことのない長寿を生き抜く時代。
多くの人が迎える高齢期をどう過ごすのか、具体的なマニュアルや指針はありません。
更に新型コロナウイルスの感染拡大がこの課題により重くのしかかっています。
“自分らしく”、そして時に“支え”を得ながらどう生きていくのか。
フレイルなどの老年医学の分野をはじめ、社会学の立場から超高齢社会の生き方と
備え方を考えていきます。

2021年 **3月14日(日)**

開演(配信):午後1時30分 終演:午後3時50分(予定) ※途中休憩あり

※インターネットによるライブ配信です

イラスト/マルシェ デザイン/ハナデザイン

超高齢社会を生きる

～コロナ禍に考えるフレイルと長寿の生き方・備え方～



パネリスト

かすが きすよ
春日 キスヨ

家族社会学者

九州大学教育学部卒業、同大学大学院教育学研究科博士課程中途退学。京都精華大学教授、安田女子大学教授などを経て、2012年まで松山大学人文学部社会学科教授。専攻は社会学(家族社会学、福祉社会学)。父子家庭、不登校、ひきこもり、障害者・高齢者介護の問題などについて、一貫して現場の支援者たちと協働するかたちで研究を続けてきた。著書に『介護とジェンダー：男が看とる女が看とる』(家族社、1998年度山川菊米賞受賞)、『介護問題の社会学』、『家族の条件 豊かさのなかの孤独』(岩波書店)、『高齢者とジェンダー：ひとりと家族のあいだ』(ひろしま女性学研究所)、『百まで生きる覚悟 超長寿時代の「身じまい」の作法』(光文社)など著作多数。



パネリスト

おじま きよこ
小島 希世子

株式会社えと菜園 代表取締役
NPO法人農スクール 代表理事

慶應義塾大学卒業。野菜の産地直送の会社に勤務した後、熊本県の無肥料・農薬不使用栽培・オーガニック栽培に取り組む農家直送のネットショップを開設。2009年『株式会社えと菜園』として法人化した。2011年にはNPO法人農スクールも立ち上げ、消費者に農業を身近に感じてもらう『体験農園コトモファーム』をはじめるとともに、ホームレスや生活保護者の就労を目的とした野菜づくりを教えている。『横浜ビジネスグランプリ2011ソーシャル部門』および、『内閣府地域社会雇用創造事業第1回社会起業プラン・コンテスト』で最優秀賞を受賞。著作に『ホームレス農園 命をつなぐ「農」を作る!』などがある。



パネリスト

おがわ すみと
小川 純人

東京大学大学院医学系研究科 老年病学 准教授

1993年東京大学医学部医学科卒業。JR東京総合病院内科、日本学術振興会特別研究員を経て2001年に米国・カリフォルニア大学サンディエゴ校細胞分子医学教室に留学。骨粗しょう症や認知症といった老年疾患とホルモン・栄養の関連性などについて研究を重ねる。2005年に東京大学老年病科助手・文部科学省高等教育局医学教育課専門官(併任)となり、2013年より現職。フレイルやサルコペニアへの対策を講じるとともに、高齢者に全人的包括的な診療を目指している。日本老年医学会、日本老年学会、日本骨粗鬆症学会、日本動脈硬化学会、日本サルコペニア・フレイル学会など多くの学会の評議員・委員を務める。



コーディネーター

まちなが としお
町永 俊雄

福祉ジャーナリスト

1971年NHK入局。「おはようジャーナル」キャスターとして教育、健康、福祉といった生活に関わる情報番組を担当。2004年からは「福祉ネットワーク」キャスターとして、うつ、認知症、自殺対策などの現代の福祉をテーマに、共生社会の在り方をめぐり各地でシンポジウムを開催。現在は、フリーの福祉ジャーナリストとして活動を続けている。

■ プログラム 開演(配信):午後1時30分 終演:午後3時50分(予定)

第1部 対談「超高齢社会をみつめる」

“春日キスヨ(家族社会学者)×町永俊雄(福祉ジャーナリスト)”

- ・「百まで生きる覚悟」 その“覚悟”とは？
- ・超高齢社会に求められる“老い支度”

休憩

第2部 パネルディスカッション「長寿の生き方・備え方」

- ・老年医学から考えるフレイルと暮らし
- ・農園からはじめる“新・超高齢社会の生き方”

■ 問い合わせ

NHK厚生文化事業団「オンラインフォーラム超高齢社会を生きる」係
電話 03-5728-6633 (平日 午前10時~午後5時)

渋谷区文化総合センター大和田
さくらホールより配信します。

会場での観覧はできません。



渋谷駅から徒歩5分。さくらホール、伝承ホール、プラネタリウム、こども科学センター、図書館などの文化活動拠点。

